

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情 2 第 2 4 号	受理年月日	令和 2 年 1 0 月 3 0 日
件 名	小中学校の少人数学級の実現を求める陳情		

【陳情の趣旨】

日ごろ目黒区の教育行政へのご尽力に敬意を表します。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月27日木曜日夜、突然、安倍前首相から「3月から小中学校一斉休校」の発表により、一斉休校となりました。年度末・年度始めの、子どもたちにとって重要な学年のまとめの学習や学級活動ができなくなったり、卒業式・入学式がとても簡単な形になったりしました。現場の先生方の精一杯の努力があっても不十分な形での補充となりました。一斉休校で失われた授業内容の指導と子どもたちの心のケアを充実させることがとても重要だと思います。また、家庭環境によって生じた学力格差への対策も必要だと思います。

目黒区では6月に学校が再開され、当初は感染拡大を心配し、「分散登校」という形でほとんどの学級が10人から20人で実施されました。普段より少ない人数の授業を受けた子どもたちからは、「授業がわかりやすかった」「発言しやすかった」という声が上がリ、教職員からも「つまずいている子にもその場で対応でき、遅れてしまった授業を取り戻すにはこれしか方法はない」「これからぜひこの人数で授業をさせてほしい」という要望が大きくなっていると聞いています。

今後も感染拡大が予想される中、多くの先生方から「このままでは3密を避けるのは不可能」という悲痛な声が上がっています。

子どもたちのいのちと健康を守り、学ぶ権利を保障するために、せめて、30人以下学級を実現することが絶対必要だと考えます。

以上の理由から、以下のことを要請します。

【陳情事項】

小中学校の子どもたちの授業を密から守り、一人ひとりにゆきとどいた教育を充実させるために、学級定数を30人以下にするよう、国と都に要請してください。